

グループ研究「学生対応・利用者サービスについて」

日時：2007年3月12日

場所：駒澤大学

記録：杉田

参加者：佐藤庸子（関東学院大学）、大川龍太郎（成城大学）、坂下明子（創価大学）

水野里永子（文化女子大学）、杉田典子（東海大学）

欠席：塚本 明（東洋大学）

内容

これまで各大学の状況などを話し合ってきたが、なかなか方向性が見えてきていないため、今後どう進んでいくかを話し合った。

その中で、「どうすれば図書館の利用者数を増やせるか」という意見が出た。

現在の利用サービスの現状などについてのアンケートを実施し、解決策を導いていくのはどうかという案も出た。

例)

読書マラソン、読書検定などを実施し、利用者をひきつける

これらは就職活動にも役に立つのではないか。

ただし、教員などの協力も必要となってくる。

今後、これらも踏まえた上で、どのように研究を進めていくかを慶應義塾大学・加藤好郎氏に相談する予定である。